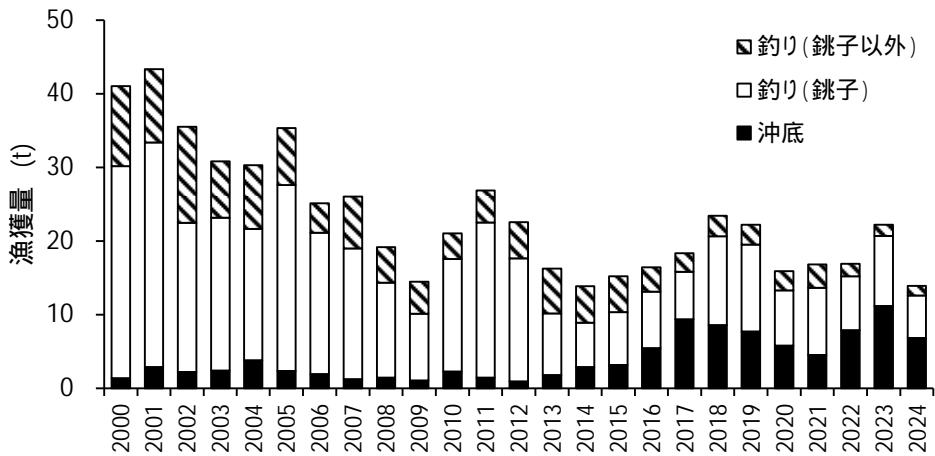


## 千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度漁獲動向

## アカムツ



## 漁獲量



県内主要港における漁業種類別漁獲量の経年変化（千葉県資料）

- 千葉県では、銚子地区の沖合底びき網及び釣り、外房地区の釣り、東京湾口における釣りによって主に漁獲されている。
- 主要港における漁獲量の推移をみると、2000年及び2001年は年間40tを超える漁獲があったが、その後は緩やかに減少し、2009年には15tとなった。2010年以降は15~30tの間で変動していたが、2024年は14トンと2000年以降で最も少なかった。
- このうち沖合底びき網漁業での漁獲量は、2000~2015年には年間5t未満であったが、2016年以降は5~10t前後で推移している。
- 2024年の釣り漁業による漁獲量は、銚子地区が全体の8割以上を占めているが、操業隻数の参照がないことからCPUEの算出ができない。

## 備考

- アカムツ日本海系群（青森県～山口県）は2019年から国の資源評価対象種になり、日本海側における生態的知見が整理され、資源の水準と動向は沖合底びき網のCPUEを用いた資源密度指数を資源量指標値として判断されている（2019年は高位・横ばい）。